

水 稻 「めんこいな」

秋田県農業試験場

1 この品種を開発した目的

安定多収および収穫作業の分散による低コスト化と、秋田県産米の品質・食味水準の向上を図るため、中生のうるち種を開発しました。

2 品種の特性・用途・セールスポイント

○主な特徴

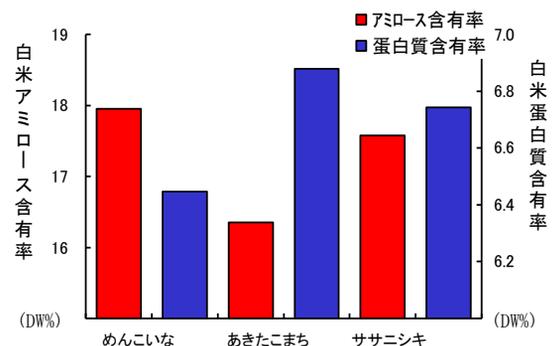
- ・出穂期及び成熟期は「ササニシキ」並の中生の晩で、稈長が「ササニシキ」より短く耐倒伏性が強いです。
- ・いもち病抵抗性遺伝子型はPi aと推定され、圃場抵抗性は葉いもちがやや弱、穂いもちが中です。障害型耐冷性は中です。
- ・収量性・玄米品質は「ササニシキ」より安定して良く、食味は「ササニシキ」並の良食味です。

○作付け地帯と栽培上の留意点

- ・県内平坦部一円。但し、熟期が遅いので「トヨニシキ」が栽培できる地域。
- ・幼穂形成期と減数分裂期の2回追肥は外観品質や食味が低下するので、減数分裂期追肥を基本とします。
- ・いもち病には弱いので、防除体系「あきたこまち」に準じる。

3 育成経過

ひとめぼれ × あきた39



★この品種に関する問い合わせ先★

秋田県農業試験場 電話 018-881-3312